

科目名：コミュニケーションデザイン学演習

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	グラフィックシンボル、タイプフェイスの機能と役割、造形手法について理解できる (A-2)。	グラフィックシンボル、タイプフェイスの機能と役割、造形手法について、自律的に多くの先行事例を収集・分析し、わかりやすく調査分析レポートにまとめ、明快に説明することができる。	グラフィックシンボル、タイプフェイスの機能と役割、造形手法について、自律的に先行事例を収集・分析し、わかりやすく調査分析レポートにまとめ、説明することができる。	グラフィックシンボル、タイプフェイスの機能と役割、造形手法について、教員の助言を参考にしながら先行事例を収集・分析し、調査分析レポートにまとめ、説明することができる。	グラフィックシンボル、タイプフェイスの機能と役割、造形手法について、教員の指導に従い先行事例を収集・分析し、調査分析レポートにまとめ、説明することができる。	先行事例の収集・分析を行わない。調査分析レポートを提出しない。発表を行わない。
2	グラフィックシンボル、タイプフェイスを企画・提案できる (A-2)。	調査分析に基づいて説得力のあるコンセプトをたてた上で、独自性のあるグラフィックシンボル、タイプフェイスを企画・提案できる。	調査分析に基づいて説得力のあるコンセプトをたてた上で、グラフィックシンボル、タイプフェイスを企画・提案できる。	調査分析に基づいてコンセプトをたてた上で、グラフィックシンボル、タイプフェイスを企画・提案できる。	グラフィックシンボル、タイプフェイスを企画・提案できる。	期日までに課題を提出しない。グラフィックシンボル、タイプフェイスを企画・提案できない。
3	コンセプトに基づいたアイデアを視覚化することができる (A-2)。	コンセプトに基づいた説得力と独自性のあるアイデアを、的確な造形手法により細部まで美しく視覚化することができる。	コンセプトに基づいた説得力のあるアイデアを、的確な造形手法により美しく視覚化することができる。	コンセプトに基づいたアイデアを、的確な造形手法により視覚化することができる。	コンセプトに基づいたアイデアを視覚化することができる。	期日までに課題を提出しない。コンセプトに基づいたアイデアが出せない。アイデアを視覚化することができない。